

# 農福連携

農業と福祉で地域を元気に



中野市



# 農福連携の全国的な状況について



エフピコダックス株式会社 代表取締役  
中野市農福連携事業  
支援連絡会アドバイザー  
**岩井 久美** さん

1974年高知県出身。通勤寮生活支援員、グループホームサービス管理責任者（地域生活）として、約9年間障がい者の生活支援に携わる。その後、サービス管理責任者（就労）を取得し、2009年簡易食品容器製造大手の(株)エフピコの特例子会社、エフピコダックス(株)福山工場設立に伴い、障がい者雇用責任者として着任し、自社グループ365人の障がい者雇用に関わる。その一方で、(株)エフピコの取引先を中心とした、障がい者雇用コンサルタントとしても活動し、これまでに約50社以上、雇用総数750人を超える障がい者の働く仕組みを創出してきた。

2021年エフピコダックス(株)代表取締役に就任。近年では「農福連携」「農福商工連携」をキーワードに、全国の自治体行政と連携し、プロジェクトも推進している。

936万人。この数字が何か分かりますか？日本における障がい者数です。さらに、軽度発達障がい、引きこもりなど障害者手帳を取得していない方々を加えると、一千万人を超える生き辛さを抱える方が存在します。その数は、人口約202万人の長野県民の4倍以上に相当します。

それだけ多く存在する障がい者の雇用の現状は、けつして恵まれているとは言えません。企業における雇用はいまだに雇用率達成割合50%未満。多くの障がい者は、非雇用型の作業所で日中を過ごしています。何らかの生産活動に携わって、受け取る工賃は月に約1万7千円。この金額では、自立して生きていくことは困難と言わざるを得ないでしょう。

障がい者雇用・農福連携と聞くと、少し特別なテーマに感じられるかもしれませんが。しかしながら、前述したように日本の人口の約10%に相当する方々の「働く」ことや「生きる」こと、そして中野市の基幹産業である「農業」についての内容です。決してマイノリティの問題ではないと感じ

ていただければと思います。

中野市では、「このまちで生まれた障がいの方々が、このまちで働いて生きていける場所をつくりたい！」という強い思いをきっかけに、農業を主事業とした雇用型の事業所が5年前に開設されました。担い手不足や高齢化が進む農業と、仕事不足の福祉をマッチングした「農福連携事業」です。この事業所を利用する障がい者は、日々農作業に携わり、就労能力や体力、生産に関わり収入を得ることで自信を獲得していきます。たくましく日焼けした彼らの「お給料10万円以上だった！」「お母さんにプレゼントを買った！」「僕が休むと会社が困るから頑張る」と笑う顔を見ていると、働くことや稼ぐこと、誰かに必要とされる

ことが彼らに与える力の強さを感じます。

地域産業の活性。たとえ障がいがあってもなくても、自立への可能性を持てるまちづくり。農福連携事業は皆が笑顔になれる八方好しの可能性を秘めています。今後、この取り組みがさらに広がり、地域がさらに元気になることを期待しています。

## A型事業所とは...

障がい者の就労継続支援事業所にはA型とB型があります。主な違いは次のとおり

	A型	B型
事業の概要	現状で一般企業への就職が困難な障がい者へ、就労の機会の提供、就労に必要な知識および能力の向上のために必要な訓練などの支援を行い、一般企業への就労を目指します。	
雇用契約	あり 事業所と利用者で雇用契約を結び、定められた賃金が支払われます。事業所によっては、社会保険や雇用保険への加入となります。	なし 雇用契約は結ばず、作業量に応じた工賃が支払われます。
工賃・賃金*	月額 86,983円（時間額895円）	月額16,153円（時間額263円）

※厚生労働省公開データ 2021年度平均工賃（賃金）

2017年に設立し、現在は社員4名、従業員（障害のある利用者）8名で運営。親会社である㈱アルビスは、食品小売業を北陸を中心に岐阜や東海に60店舗以上展開している。



所在地：中野1340-1  
 電話：(24) 5011  
 事業内容：農産物の生産・加工

就労継続支援A型事業所  
 株式会社  
**アルビスファーム**  
 信州なかの



## 中野市について

自然豊かで緑に囲まれたきれいなところだと感じました。農業的な面では、キノコ使用済み培地を堆肥として使用できるというのは中野市ならではと驚きました。環境のためにも素晴らしい取り組みだと思います。

## 主な事業内容

市内の遊休荒廃地を利用し、障がいのある方や地域と連携しながら、タマネギとズッキーニを主に栽培しています。長野県からエコファーマー認定を受け、大切に育てた野菜はアルビス㈱のスーパーで販売し、評判だと聞いています。設立当初から農業技術サポーターの皆さんに一からご指導をいただき、JA中野市や市などからもご支援をいただいています。今後も試行錯誤しながら精一杯取り組み、中野市の魅力を県外にPRできればと思います。



㈱アルビスファーム信州なかの  
 代表取締役社長

たかまつ あきひろ  
**高松 章弘さん**

## 就労継続支援A型事業所として

農作業を通じて、従業員にさまざまなことにチャレンジして経験を積んでもらい、一般企業への就労を目指すのが当事業所の使命です。A型事業所が初めての従業員は戸惑う姿を見せることもありますが、それぞれの個性に合った対応を職員間で協議・共有しています。農作業なので暑さや力仕事はもちろんありますが、工程の見直しを常に行い、無駄を省いてなるべく楽しく簡単に感じてもらえる環境づくりに努めています。働く楽しさや自分が育てた農産物が売れる喜びなどを感じてもらうことが目標です。

一緒に作業を行う中で従業員に良い変化が見られることがあります。集中力が付き、作業を中断せずにできるようになることや人と話す機会が増え、言葉遣いが良くなることなどです。何よりも毎日「おはよう」と元気に仕事にきてくれる姿が一番うれいすね。今後も事業所として、障がいのある方が目標に向かって単立つことができる基盤になればと思います。

## 主な栽培品目







# ズッキーニ



1 定植

畝をマルチシートで覆い、苗を植える。



2 灌水

畑に通したチューブに穴をあけ水やりをします。



3 収穫



4 選別・袋詰め

決められた規格にそろえ出荷。北陸では通常より大きめのサイズのほうが人気があります。



農業ミーティング

農業支援サポーターの方と、育苗状況を確認し、対策や課題の確認を行う。

設立当初から技術支援をさせていただいています。私は「JA中野市生きがい農業者の会」の「学校給食出荷者の会」に所属し、学校給食用のタマネギを栽培していたご縁から声を掛けていただきました。栽培について、その年の天候や土の状態などから作業内容を協議し進めています。毎年、内容の見直しは必ず行い、皆さんが精一杯取り組んでいるおかげで、年々味がよくなり、よい品質のものができています。また、当初手作業が多かった工程は、同じ農業支援サポーターの小林宏和さんのおかげで機械化が進み、収穫量が増えています。

従業員の皆さんも元気にあいさつしていただき、ひたむきに取り組んでいらっしゃいます。飲み込みも早いと感じます。

長年栽培している中で「中野市産はおいしい」と評判をいただいています。今後他県への出荷を通じて「おいしい中野市産」として認知され、皆さんに喜んでいただければうれしいですね。

皆さんが精一杯取り組んでいるおかげで、よい品質のものができています



農業支援サポーター 栗林 勝英さん (東吉田)



# 3

## 定植



移植機で苗床から畑に植え替え。手植えも並行して行う。

# 4

## 除草



生育の妨げになる雑草を除去。

# 5

## 収穫



ピッカー（収穫専用の機械）や手で収穫。



# タマネギ

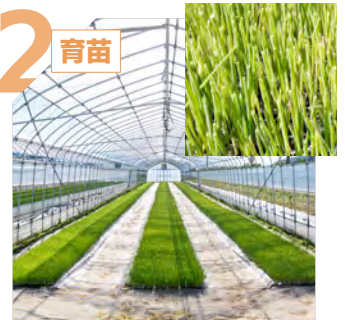
## はしほ 播種(種まき)



播種機で苗箱に種をまく。

# 2

## 育苗



ハウスの中などで発芽させる。

事業所開設当初から働いています。農福連携の事業所として、同じ症状がある仲間と家族のように何でも話せる環境があり、共通の目標に向かって取り組んでいるので、とても働きやすいです。困ったことがあっても職員の皆さんが相談に乗ってくくださる点もありがたいですね。

農業は自然を相手に仕事をするので大変な面もあります。ただ、汗をかき土にまみれて小さい種から農作物を育て上げた経験は、障がいがあっても仕事ができるという大きな喜びがあります。秋から冬の期間は、キノコ栽培事業者で働かせていただいています。微力ながら「エノキ日本一に貢献できている」とうれしくなります。現在、後輩に作業を教える機会も増えてきました。苦手な作業も自信をもって教えられるよう、日々自分にノルマを課しています。口には出しませんが「克服してやるぞ」と燃えています。その積み重ねのおかげか、今年の袋詰めコンテストでは優勝することができました。助けていただけると事業所の皆さん、日々お弁当を作って応援してくれる妻など周りの方への感謝の気持ちを忘れず、日々成長していきたいです。エコファーマー認定を受け、どなたにも安心して食べていただけるよう育てた農作物は自信を持ってお勧めできます。食を通じて、障がいがあってもここまでできるんだよっていう事も知っていただきたいです。



従業員（利用者）Aさん  
にお話をお聞きしました

障がいがあっても  
ここまでできるんだよって  
いう事を知ってもらいたい





8 出荷  
収穫から最短2日で店舗に並ぶ。



7 選別・袋詰め  
サイズなどで分け、袋に詰める。



6 根切り・葉切り・乾燥  
出荷のための準備。



9 出荷先の様子  
多くの農産物は北陸地方を中心に展開するアルビスグループで販売。



6次加工品のりんごチップスなども販売。



J A 中野市農産物産館 オランジェにも一部を出荷。



従業員（利用者）Bさんのお母さんにお話をお聞きしました

働くことを通じて  
物事を我慢強く  
続けていく力が  
身に付きました

娘は2019年から勤めさせていただいています。以前は市外のB型事業所に勤めていましたが、農業のA型事業所があることを知り、一度行ってみようかと相談して決めました。

最初は弱音を吐くこともあり、続けられるか不安な時もありましたが、事業所の皆さんが働きやすい環境づくりに取り組んでいただき、作業を温かく見守ってもらうことで毎日通うことができています。本当に事業所の皆さんに感謝しています。

働き出してから、本人にやる気や責任感が出てきました。B型と比べて多くの賃金をいただいている自覚や仲間と意思疎通を図りながら作業することで、我慢強く続けていく力が身に付いたからだと思います。何事にも挑戦する気持ちも生まれ、家では料理を一緒に作るなどの手伝いをしてくれることが増えました。いずれは運転免許の取得や一般就労もできたらいいねと話しています。もし私がいなくなっても、仕事を通じて自立できる力を身に付けてもらえればと思います。

「A型事業所はちょっと無理かな」と思っている方もいると思います。でも、挑戦したいという気持ちがある本人に少しでもあれば、市に一度相談してみることをお勧めします。





袋詰めコンテスト



作業技術の向上を目的に、従業員間で作業精度を競う。

研修制度



安心かつ安全に農業に従事できるように、熱中症や虐待防止の研修を実施。

福祉ミーティング



職員間で、従業員との接し方や個性にあった作業内容などを検討し、共有する。

より働きやすい  
職場環境づくり

忙しい時期の戦力として  
とても助かっています。



株式会社 MT 産業  
代表取締役 長島 雄一 さん

毎年10月～3月頃まで作業をお願いしています。集中力があり、戦力としてとても助かっています。農作業との調整が可能なら、受け入れをもっと増やしたいですね。

作業の効率化にも  
一緒に取り組んでいただき、  
本当に大きな戦力です。



株式会社 ケーアイ・オギワラ  
代表取締役 荻原 大輔 さん

集中して作業に取り組んでいただき、本当に大きな戦力です。作業の正しい順番、適切なタイミングなど試行錯誤しながら、効率化にも一緒に取り組んでいただいています。



施設外就労

農業の閑散期は市内のキノコ栽培事業者を受け入れをお願いします、作業を行っています。



1・2 発芽したエノキタケに筒をかぶせる作業  
3・4 使用済みの筒を洗浄する作業



菌糸接種済みのピンを培養室の棚へ入れる作業や収穫後のピンを運ぶ作業を実施



## 一緒に働ける方を募集しています

市では、障がいのある方の「社会で積極的に働きたい」「この地域で安心して自立した暮らしがしたい」という意欲に応えられるよう支援しています。

就労継続支援事業所では、一般企業への就職を目標に、就労に必要なスキルを身につけるための訓練を受けながら働くことができます。

### ▶ 就労継続支援事業所での就労に関することについて…

中野市 福祉課 障がい福祉係 ☎(22)2111(内線295)



「働くことで悩んでいる」  
「B型事業所しか経験がなく不安…」  
と思っている方も  
まずはお気軽にご相談ください。

福祉課 社会福祉士 源氏 沙奈

